

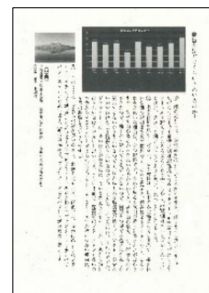
自ら考え、表現できる子どもの育成をめざして～タブレット活用～

今年度は、「読む・書く・話す・聞く」の言語力向上のための活動をさらに日常的に継続し習慣化を目指すとともに、授業においても「表現する力」をつけていきたいと考え授業改善に取り組んできました。

☆5年国語科 『びわ湖のことを知らせよう』～グラフや表を用いて書こう～

国語科とフローティングスクールでの学びを関連させ、「びわ湖についてグラフや表を用いて、自分の考えを伝えるように書き方を工夫する。」をめあてに学習をしました。最後は、来年フローティングスクールに参加する4年生に向けて壁新聞にまとめ発信することを目指しています。ソーシャルディスタンスを取りながらも交流を行い、互いの意見(付箋)を出し合い、話し合ったことを参考に、再度自分の文章を書き直します。できあがった文章とグラフは、グループごとにまとめる壁新聞の記事になります。

タブレットのワード機能を利用することで文章の修正やグラフなどの貼り付けも効率的にでき、美しい仕上がりになります。



☆2年算数科 『図にあらわして考えよう』

文章問題をテープ図に表す学習を、タブレットを利用して行いました。タブレットを使うことで自分で考えたことを、全体で共有し比べたり、整理したりすることができます。



☆4年～チャレンジ for チェンジ～

4年生でつきたい力(「読み読み」「書き書き」「ペラペラ」(話す)「リスリス」(聞く))を意識して、朝学習に取り組んでいます。

書き順などをタブレットで確認します。



タブレットで確認テストを繰り返すことができます。

☆読書のすすめ

読書をすれば国語ができるようになるかというそれだけではありませんが、国語の得意な子どもたちは、やはり文章を読み慣れています。読書を漢字や計算と同じように日常の中に組み込んでいけたらと思います。多賀小学校では絵本バックの中にもいつも読みかけの本が入ってある状態をつくるようにしています。

毎月、図書委員会主催の読書週間も開催されています。

☆辞書引きのすすめ(3年生以上)

多賀小学校では、読みかけの本とともに辞書を身近に置くことをすすめています。わからない言葉は、すぐに辞書を引く習慣をつけることで語彙力アップをめざしています。新出漢字の学習で熟語などを調べる際には、同音異義の熟語も同時に比較しながら覚えることができます。

低学年で学習した漢字を使った熟語でも読むのが難しいものもあります。例えば、会心(かいしん) 工面(くめん) など知っている漢字なのに語彙力がないと書いたり読んだりできません。新出漢字の学習では、辞書を引くことで1つの漢字から多くの言葉を知ることができます。今後も辞書引きの習慣化をめざします。

それぞれの学び～ゲストティーチャーの皆さんにお世話になりました～

☆6年 総合的な学習の時間『多賀小SDGs』

グループごとのテーマに合わせて、様々なゲストティーチャーの方々にお話を聞かせていただきました。たくさんの資料をご準備いただき、児童の質問にもわかりやすくお答えいただきました。

YOBISHIより
・多賀の地産地消など



動物保護センターより
・保護動物の実情など



大滝山林組合より
・山の大切さなど



多賀町役場産業環境課より
・多賀のお米『にこまる』のPR
・ダンボールコンポストなど



☆1年 生活科 『昔遊び』

ゴム鉄砲・ビー玉・めんこ・お手玉・けん玉・はねつきのコーナーに分かれて、遊び方を教えてくださいました。



お手玉



めんこ



ビー玉



けん玉



ゴム鉄砲

新しい手作りの
ゴム鉄砲もたくさん
いただきました。ありが
とうございました!!

☆3年 社会科『安全な暮らしを守る』

多賀駐在所の方に警察の仕事についてお話を聞きました。指紋採取の体験や、様々な装備や道具についても教えていただきました。



重たい！こ
れ持って走
れるの？



粉の付け
方が難し
い！

☆6年 理科『発掘体験のまとめ』



博物館より来校いただき、発掘した化石やクイズの結果等、まとめの学習をしていただきました。

◎今後も、4年の福祉体験学習、5年のお琴体験などゲストティーチャーの皆さんにお世話になる予定です。

コロナ禍ではありましたが、消毒や人数制限、換気などの感染対策を講じながら、ゲストティーチャーの皆さんにお越しいただきました。やはり、実際にお会いして言葉を交わしたり、体験したりすることは、記憶にも心にも残り、よい経験よい出会いとなりました。今後とも、子どもたちが地域の方々とつながりを広げていけますよう取組をすすめていきます。ありがとうございました。